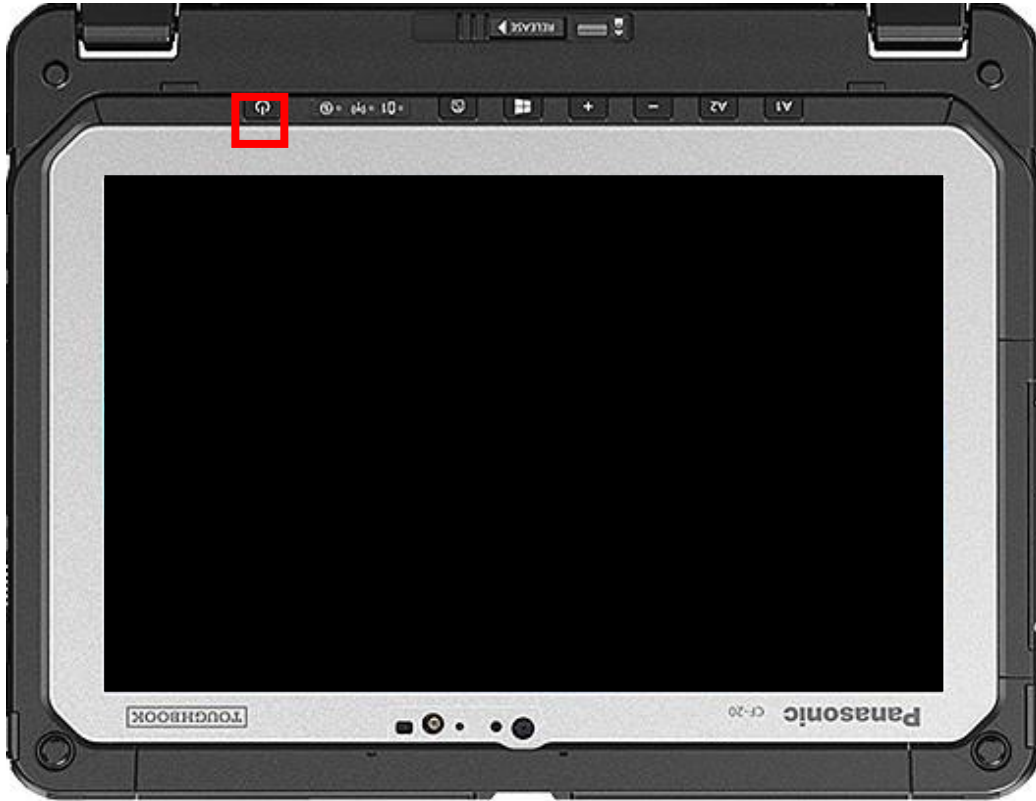
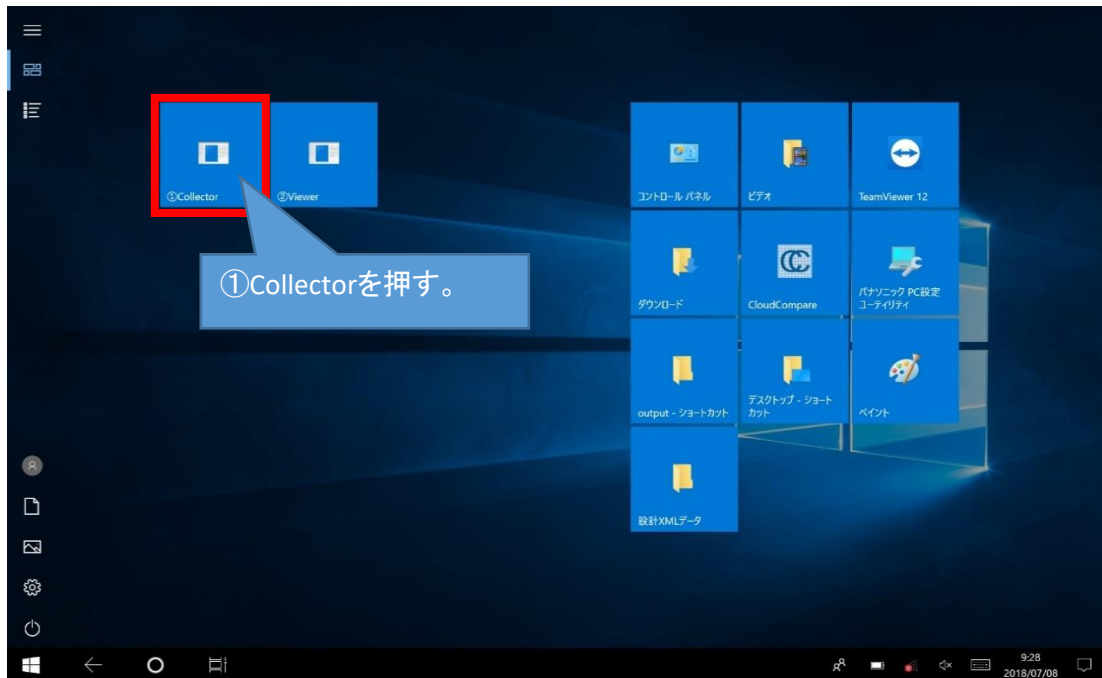


重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 基本操作

1.電源ボタンを長押しして下さい。

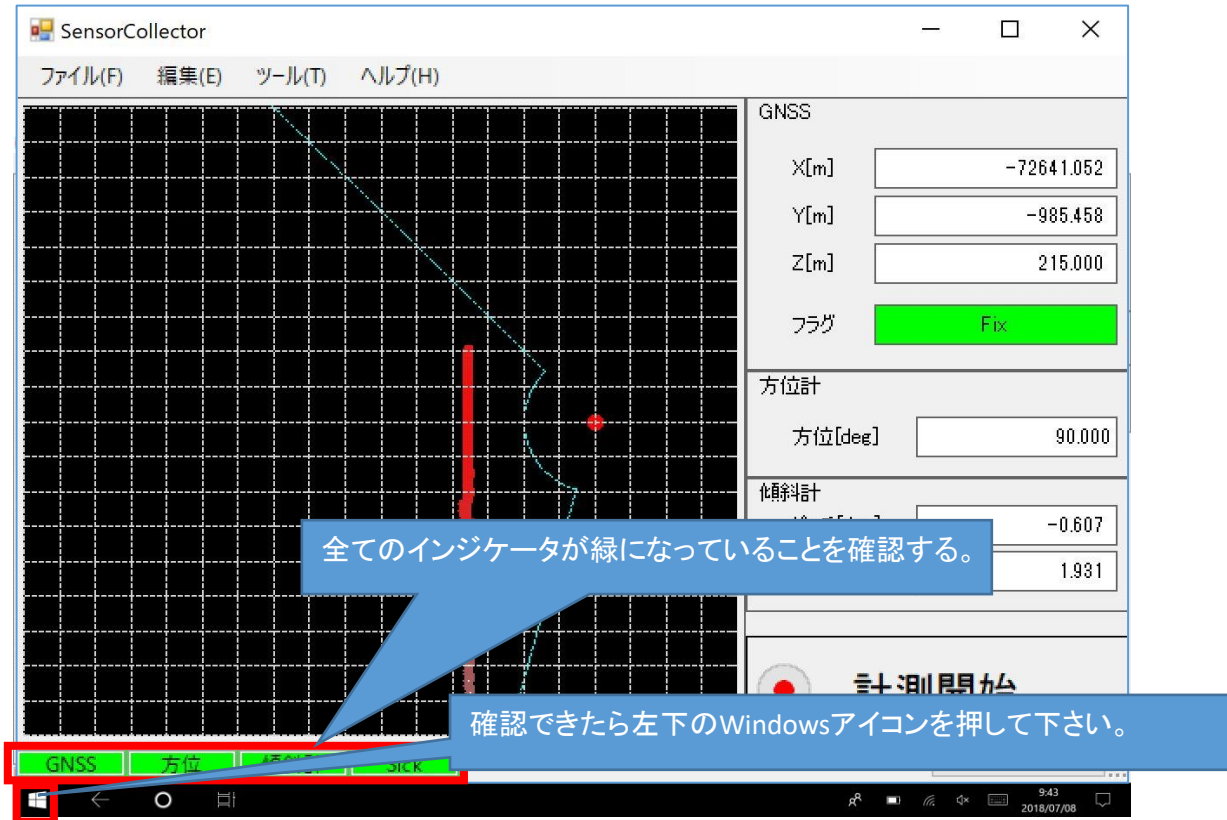


2.PCの電源を入れて「①Collector」を押してください。するとCollectorソフト(計測ソフト)が起動します。

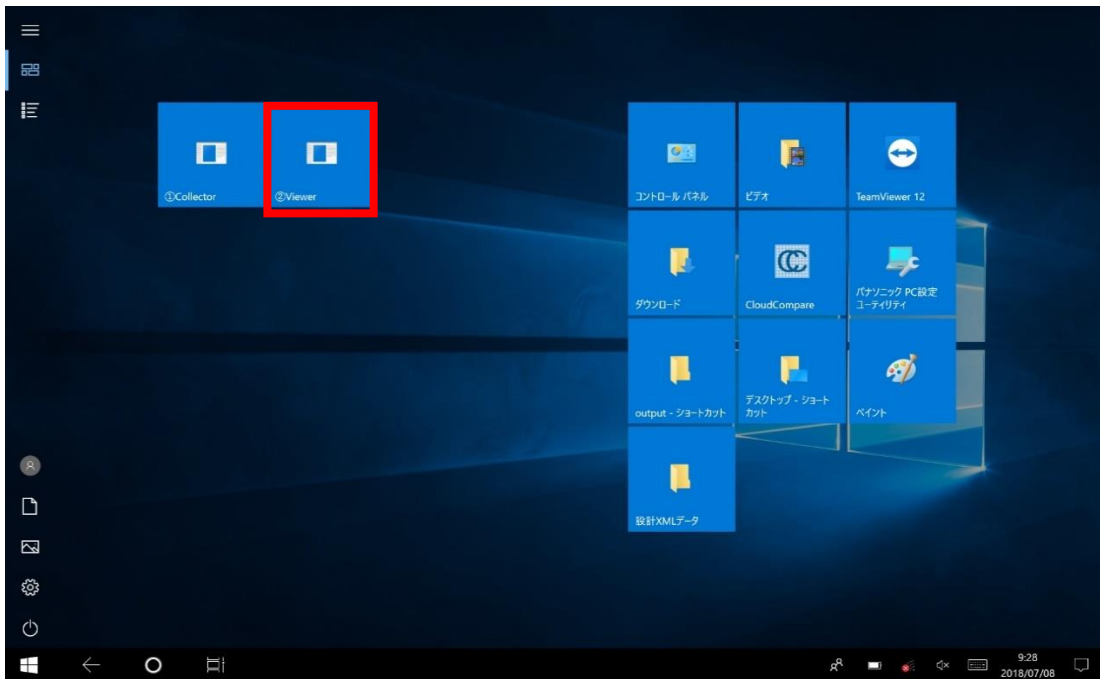


重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 基本操作

3.ソフト起動後、「GNSS」「方位」「傾斜計」「Sick」のインジケータがすべて緑になっていることを確認して下さい。確認できたら、画面左下のWindowsアイコンを押して下さい。

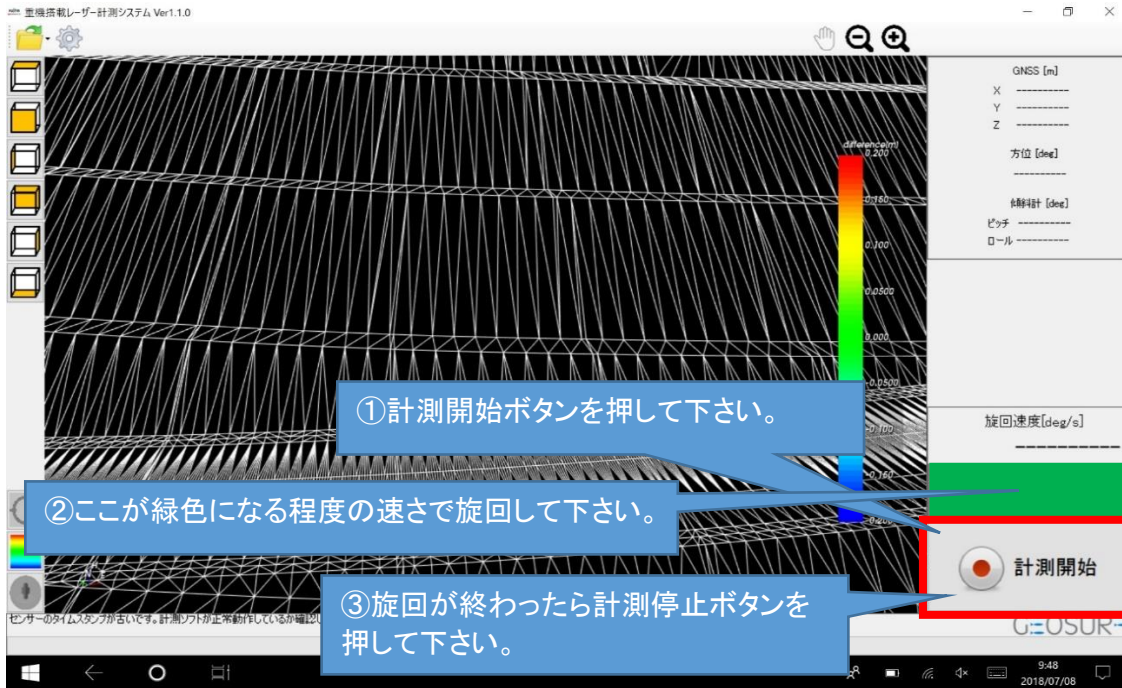


4.「②Viewer」を押して下さい。するとViewerソフト(3D出来形計算表示ソフト)が起動します。

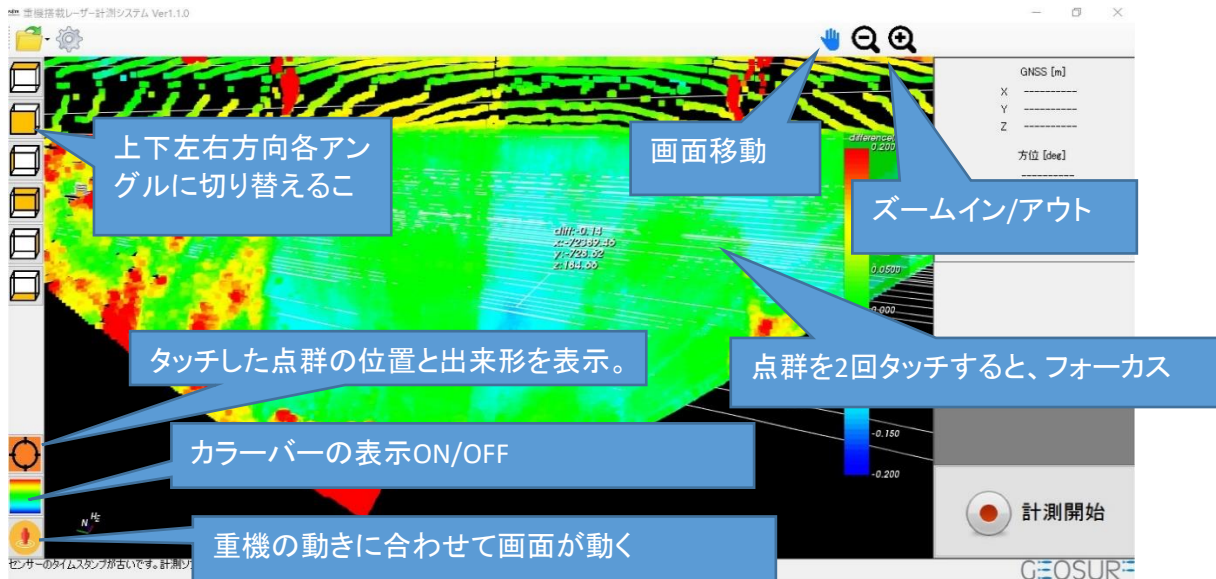


重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 基本操作

5. 計測開始ボタンを押して、バックホウを回転させて下さい。
回転は回転速度のインジケータが緑色になる程度の速さで回転して下さい。



6. しばらくすると、計算処理が終わりヒートマップが表示されます。
画面操作によって、画面のズームイン・ズームアウト・アングルの変更が出来ます。

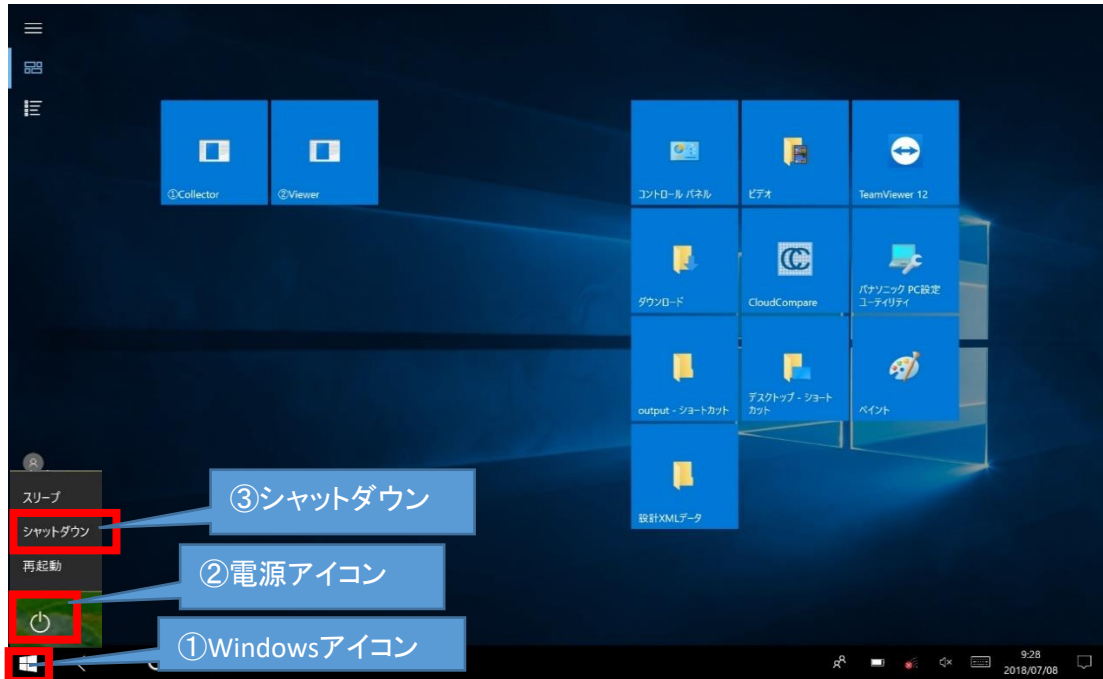


重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 基本操作

7. 作業終了方法

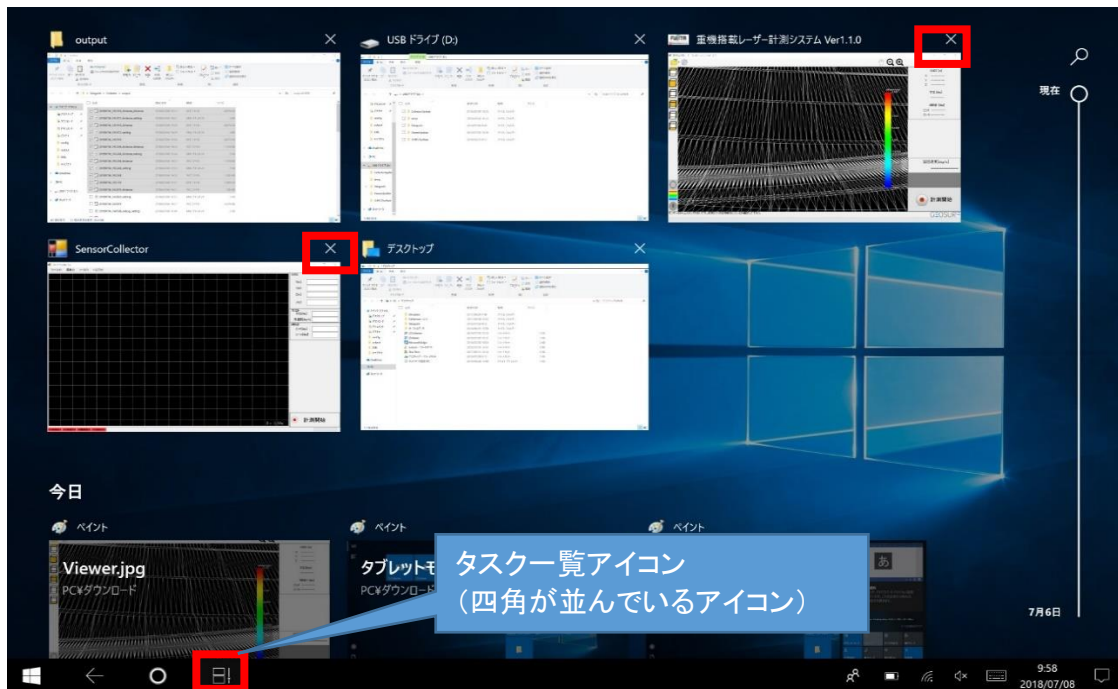
作業終了後には必ず電源を切ってください。

Windowsアイコンを押して、電源アイコンを押して「シャットダウン」を押して下さい。



★動作がおかしい場合は、CollectorとViewer両方のソフトを終了させて、もう一度やり直してください。

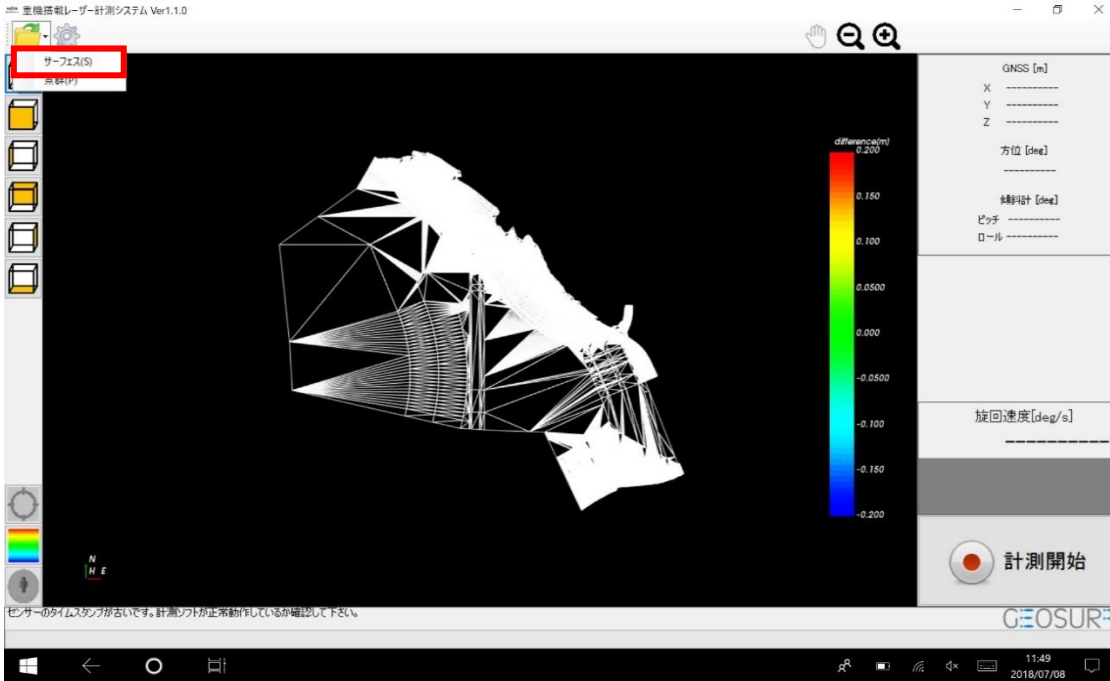
ソフトを終了させるには、タスク一覧アイコンを押して、CollectorとViewerの「×」を押して終了させることができます。



重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 設定操作

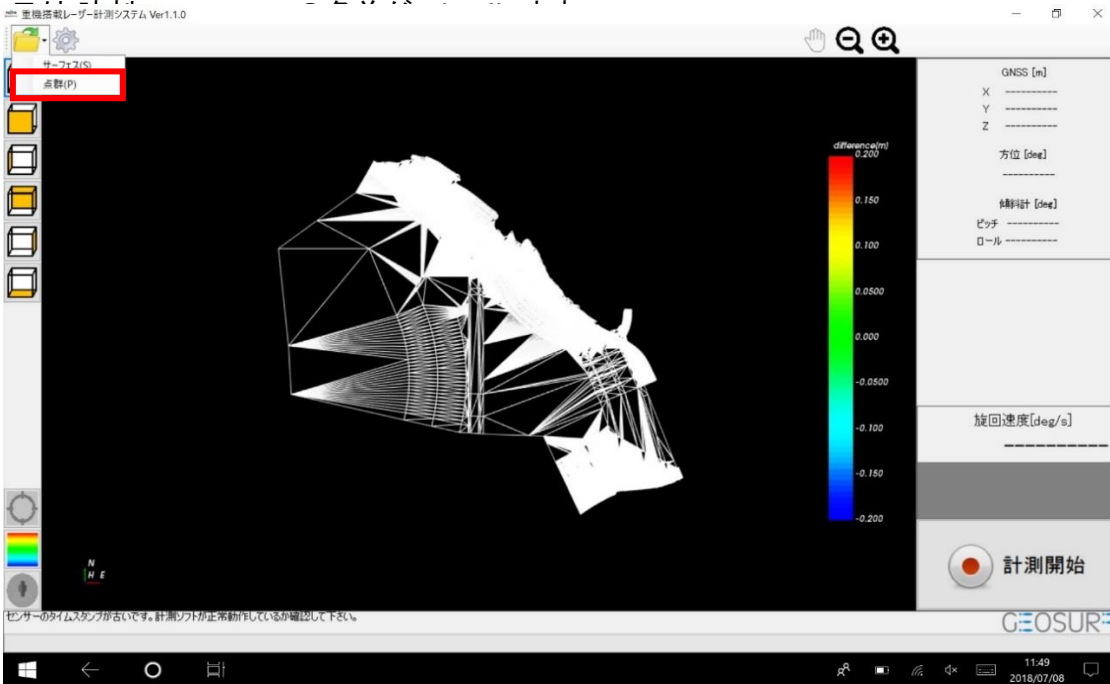
■設計データの変更

フォルダアイコンを押して、「サーフェス(S)」を押してください。
ファイル選択ダイアログが表示されるので、目的のファイルを選択してください。



■計測済みの点群データを表示する。

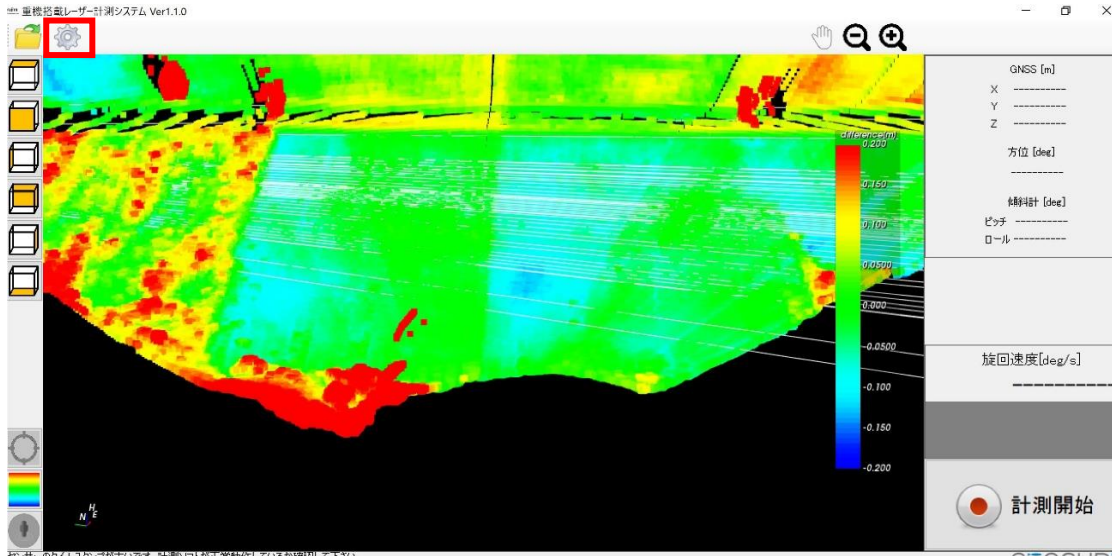
フォルダアイコンを押して、「サーフェス(S)」を押してください。
ファイル選択ダイアログが表示されるので、目的のファイルを選択してください。
計測済みの点群データは「20180709_143003_distance.xyz」のように



重機搭載レーザー計測システム操作マニュアル 設定操作

■各種表示設定

設定アイコンを押して「表示」タブを選択すると、点群の大きさや色、カラーバーの値範囲などが変更できます。



The screenshot shows the '設定' (Settings) dialog box with the '表示' (Display) tab selected. The settings are as follows:

カラーバー設定(m)	最小値	-0.20	最大値	0.20
カラーバーラベル数	9(デフォルト)			
点群表示サイズ	7(デフォルト)			
点群間引き数(1/N)	1			
1スキャンリアルタイム点群プール数	500			
回転速度表示閾値	1.0 < X <			

Callouts provide the following information:

- カラーバーの最大値と最小値を変更できます。値に応じて点群の色も変化します。
- カラーバーのラベル数を変更できます。
- 点群の表示サイズを変更できます。
- その他の設定値は基本的に変更しないでください。
- OKまたは適用を押すと変更を確定します。

Buttons at the bottom: OK, キャンセル, 適用(A)